

学校だより



市川市立平田小学校

いなほ
稲穂

学校教育目標
夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.19

R 7 年 1 月 2 8 日

校長 蜂須賀 久幸



～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～



可能性の扉を開くのは自分、そして身近な人！

第103回全国高校サッカー選手権大会は、流通経済大柏とPK戦にもつれ込んだ決勝戦は、前橋育英高校の優勝で幕を閉じました。手に汗握る展開や高校生ならではの感動があつて、箱根駅伝に並ぶピュアスポーツだと勝手に決めつけています。

雪国であることを理由に、「屋外スポーツは難しい」とされる決めつけが厳然と存在します。しかし、高校サッカーの青森県代表として28大会連続30回目の出場となる青森山田高校を例に挙げると、朝・昼・練習前に雪かきをしないとボールをけることができない環境にもかかわらず、よい選手が集まることもあります。直近8大会で4度の全国制覇を成し遂げています。では、高校野球はどうでしょうか。西高東低と揶揄される一方で、菊池雄星選手や大谷翔平選手を輩出し、今年度注目された佐々木麟太郎選手の花巻東高校。大リーグに挑戦する佐々木朗希選手出身の大船渡高校や田中将大選手の駒大苫小牧高校など、東北や北海道出身の選手が活躍しています。こうした姿を見ると、決してよいとは言えない環境を悲観するのではなく、それを克服しようとする強い意志がチームや個人を貫いていることがわかります。

そんな中、来期で大リーグ7年目を迎えるエンゼルス菊池雄星投手のインタビュー記事が新聞に掲載されていました。タイトル『自分の殻を破るには』を読み進めると、気になる文章がいくつも登場します。

- アメリカで若手と練習すると、投げ方や打ち方に癖があると感じます。それが個性となっており…(略) 日本ではまず形から教えて、せうかくはみ出している部分を矯正してしまいます。
- 少しずつうまくなるのではなく、コツをつかむと一気にうまくなります。練習するのは、うまくなるきっかけをつかむためで…(略) 努力は、ひらめくためにするんです。
- 可能性を信じてくれない大人、夢を殺してしまう『ドリームキラー』は必ずいます。親とか先生とか身近な人ほど、そうなります。
- いい環境をつくりましょうというのは、いい人に囲まれましょう、ということ。誰と会つか、誰と話すかで、人生は全く変わりますから。



私たち大人は、支援する立場を間違った形で使ってしまうことがあるのかもしれませんが。導いたり諷めたりしながらも、自由度を狭めてしまったり伸びしろを奪ってしまったたりする『ドリームキラー』になることは絶対に避けたいものです。自分の殻を破るために、ひらめくために努力する人の支援者・応援者として、まだまだ私たちも練習・努力し続ける余地がたくさんありそうです。

菊池選手は、こんなふうにも語っています。“物事への取り組み方や、目標設定の仕方を教えることは、野球以上に大事だと思います”と。どのように解釈しますか？

【2月の行事予定】

※丸数字は学年を表します

日	月	火	水	木	金	土
▼ 恒常的に児童を自転車やバイク、自家用車に乗せて登校する場面を見かけます。やむを得ない事情がない限り、徒歩による登下校が原則となっています。 ▼ 運転者からの視認性や頭部保護を目的にした黄色い帽子的着用は、自分の命を守ることに繋がります。						1
2	3	4	5	6	7	8
	まなびくらぶ③ ※八中オープンS 入学説明会	百人一首練習会 縄跳び月間 八中体験見学⑥	委員会 No残業デー 16:45 留守電	新入生保護者 説明会 金融消費者教育⑥ SC相談日	ヘルシースクール (動画視聴)	PTA資源回収
9	10	11	12	13	14	15
	生活習慣チェック (~16日) まなびくらぶ③	建国記念の日	定例研 下校 13:10 ※1-2 算数展開 No残業デー			
16	17	18	19	20	21	22
	生活習慣チェック 回収 まなびくらぶ③	クラブ活動発表 (音楽クラブ)	クラブ No残業デー 16:45 留守電	授業参観・懇談会 ①~⑤ ※全校下校 14:30 SC相談日	6年生を送る会 参観・懇談会⑥ ※6年:5校時 学校運営協議会	吹奏楽部 定期演奏会 AM
23	24	25	26	27	28	3/1
天皇 誕生日	振替休日	6年:4校時日課 下校 13:30 (~3/3)	No残業デー 16:45 留守電			

◆税に関する絵はがきコンクール



税務署長賞 6年 Y. T
 佳作 6年 K. A, K. K, F. H, Y. S, W. Y
 O. I, T. N, U. S, K. Y, K. A
 M. T, M. M

◆「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール

佳作賞 5年 S. M

全員が人権について考え、詠んだ人権標語

1 2月の平田小人権週間に、「友達って何だろう?」「いじめってどういうことだろう?」を学び、考えたことを一人一人が標語に表しました。その中で、学級の代表となった標語作品が、給食室から2階へ上がる階段壁面に掲示されています。その中からいくつか紹介します。

- *がっこうを えがおと ありがとうのところで いっぱいにしよう (1年生)
- *ないているとき そっとしてね わたし がんばるよ (1年生)
- *いじめないで その人も 大切な一人だよ (2年生)
- *友だちと なかよくするには よいことば (3年生)
- *友の良いところや やさしいところ 気づく心が あなたの良いところ (4年生)
- *自分にとっては遊びでも 相手にとってはいじめだよ (4年生)
- *ありがとう やさしいきもち おすそわけ (4年生)
- *話してみても 笑わないから 君の意見 (4年生)
- *勇気出し ヒーローなのは あなただよ (5年生)
- *ためらわず 「それやめなよ」の 一言を (6年生)

